

第12回日本冠動脈外科学会 於：京王プラザホテル



JACAS 12th Meeting Program Tokyo 2007

Presidential Address

-THEMES-

1. WHY DO CABG GRAFTS OCCLUDE ?
2. WHY HAS OPCAB IN JAPAN PROGRESSED SO RAPIDLY?
3. WHY DID I WRITE JAPANESE CABG TEXTBOOK IN 1993?

The 12th Anniversary of the Japanese Association of Coronary Artery Surgeons
JACAS
12th Meeting Program

July 14th - 15th Oct. 2007 KEO PLAZA HOTEL



検証
と
前進

President : Shiroichi Ozuka, MD
Department of Coronary Surgery
Tokyo, Japan



2007年7月15日

冠状動脈バイパス手術手技

監修 庄司 佑 著 小坂眞一



南江堂

透析患者の循環器疾患に対する最新治療

透析医・循環器内科医・心臓外科医の立場から

監修 小坂眞一
著 大和成病院院長 小坂眞一
編集 大和成病院院長 小坂眞一
編集 大和成病院院長 小坂眞一



南江堂

小坂眞一
監修

心臓病の 9割は 防げる

狭心症、心筋
梗塞を招く
動脈硬化症
に注意!

血圧、脂質、血糖、
タバコ…「少しの
努力」で安心!

講談社 新書

不健康なライフスタイルが引き起こす「日本人
の3大死因」で死なないための自己防衛法

図解 これで安心! 心臓手術

●病院選びのコツ ●術前検査の意味 ●手術の実際がわかる

大和成病院副院長 小坂眞一



新書

180



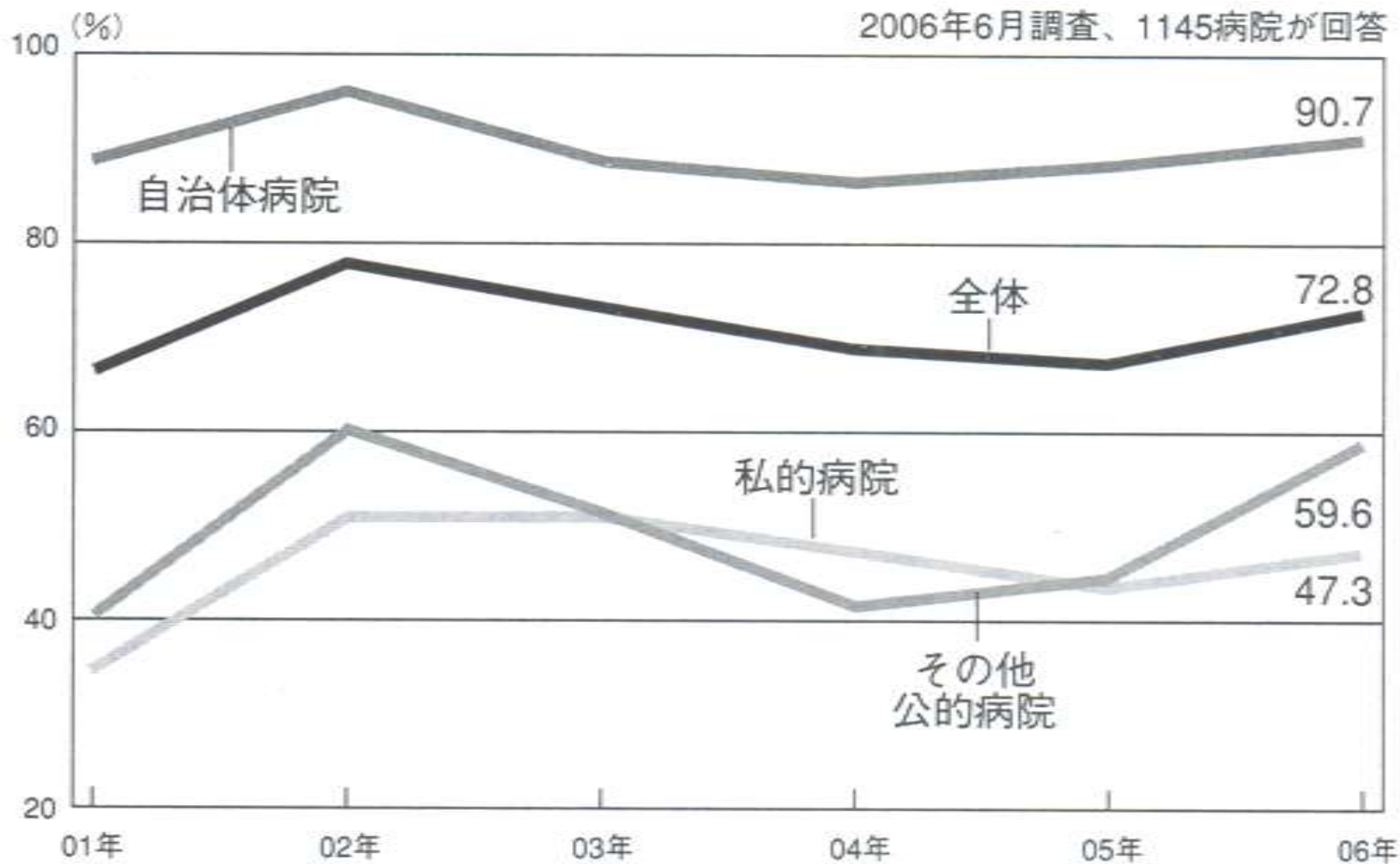
誰が日本の 医療を殺すのか

「医療崩壊」の知られざる真実

本田宏

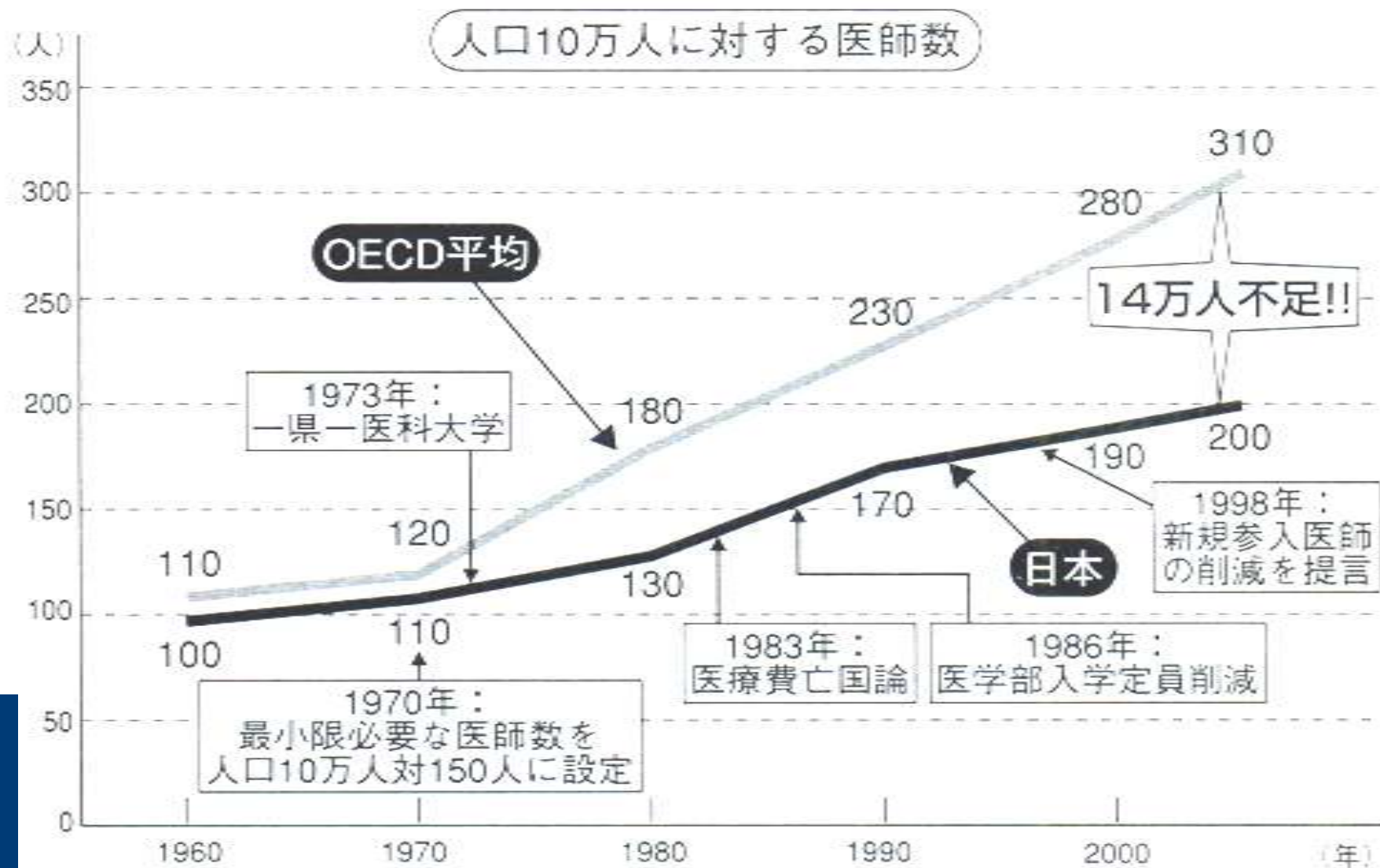
Honda Hiroshi

図1-2 全国の病院の7割以上は赤字という現状



(全国公私病院連盟「平成18年病院運営実態分析調査の概要」を参考に作成)

図 2 - 4 OECDの平均医師数と日本の医師数



(出典：OECD Health Data 2006、厚生労働省、2004年)

図 3 - 2 医療提供施設別病床数日米比較(1000人当たり病床数)

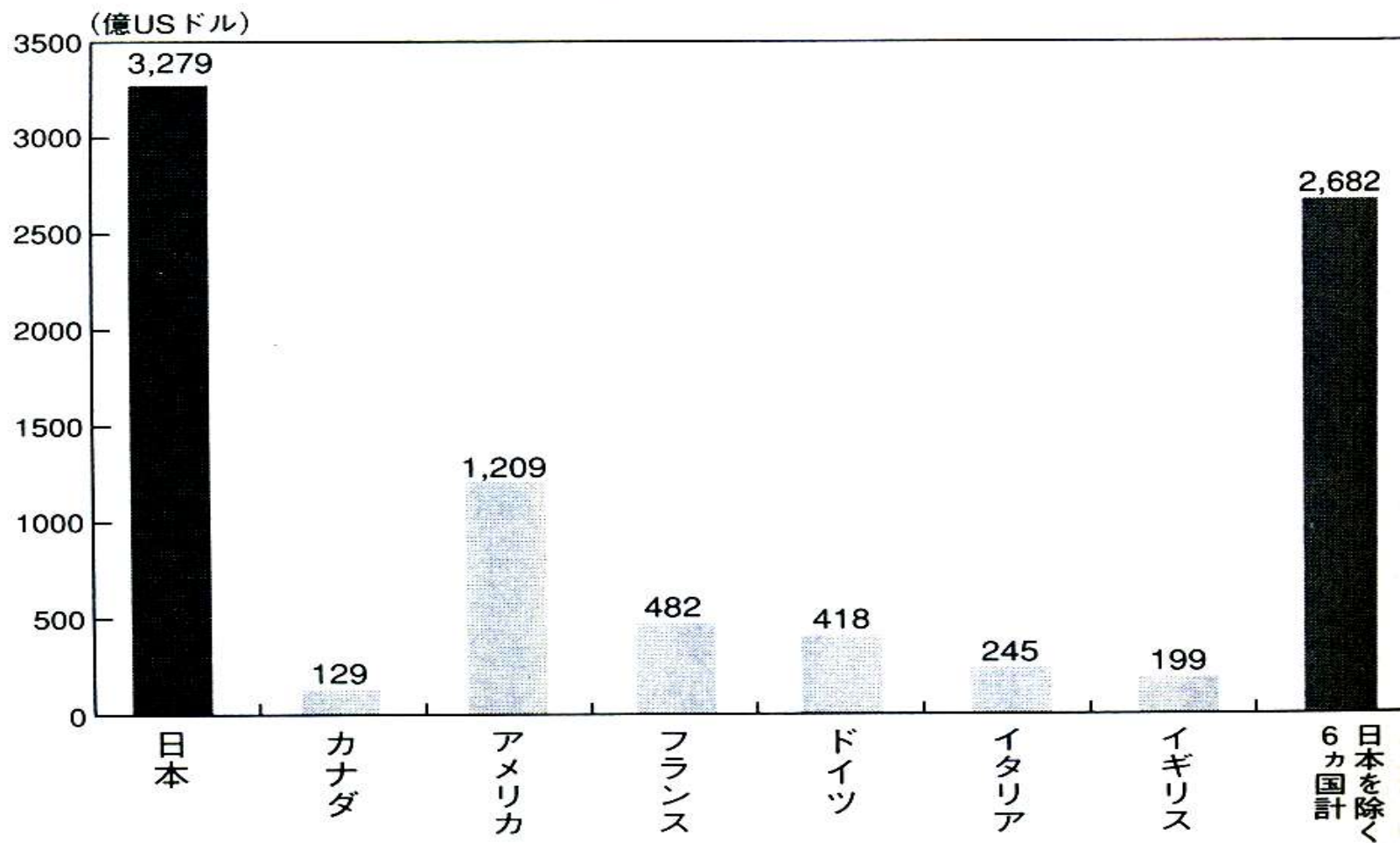
日 本		アメリカ	
一般病床	7.1	短期入院病床	3.1
療養病床	2.7	長期入院病床	0.1
精神病床	2.8	精神入院病床	0.3
結核病床	0.1	結核療養病床	0
		ナーシングホーム	6.8
病床合計	12.7	病床合計	10.3

*ナーシングホームに関しては1999年の数値

(出典：日経メディカルブログ 本田宏の「勤務医よ、闘え！」、2006年11月6日)

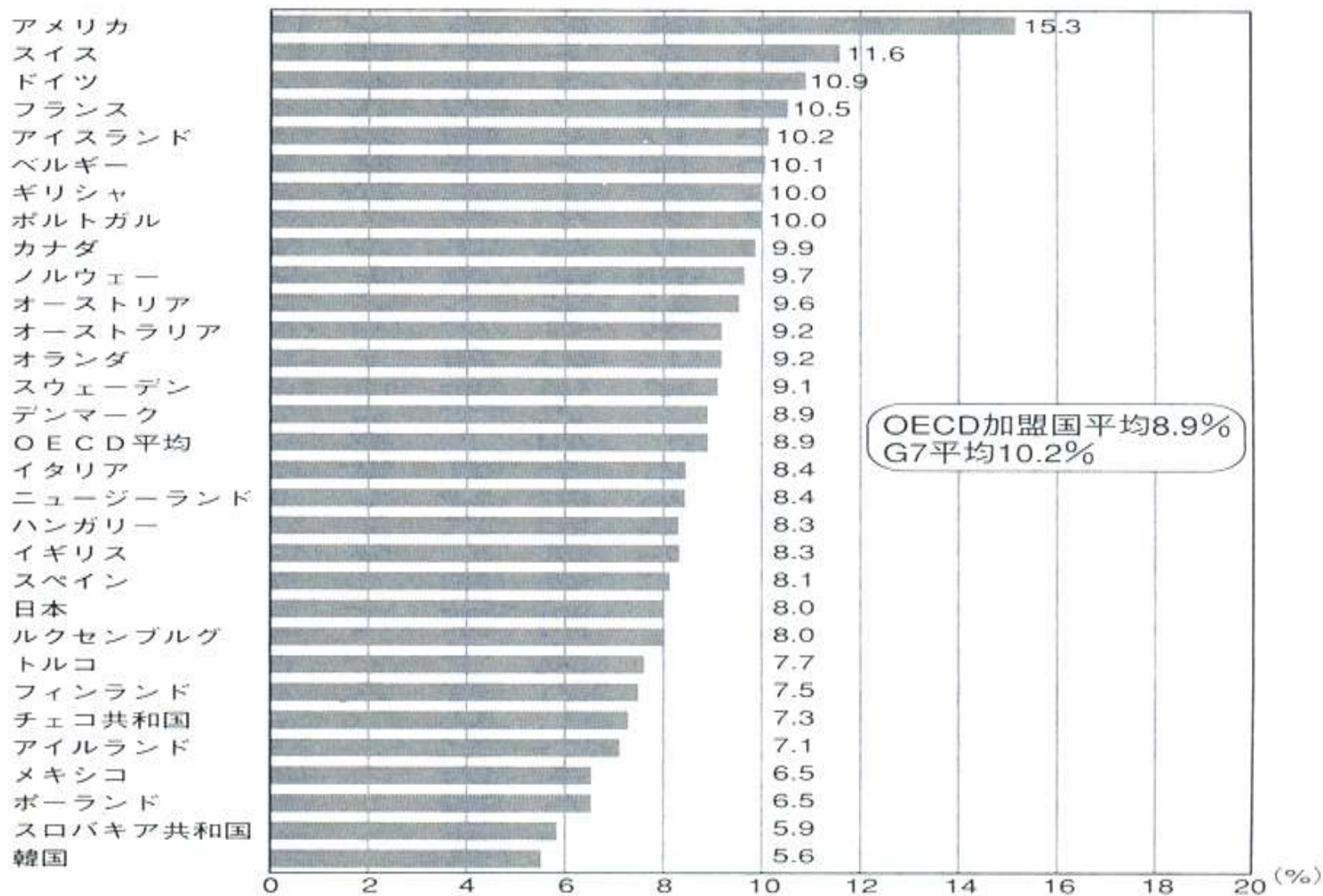
第四章 日本の医療費は本当に高いのか

図4-1 サミット6カ国合計より多い日本の公共事業費



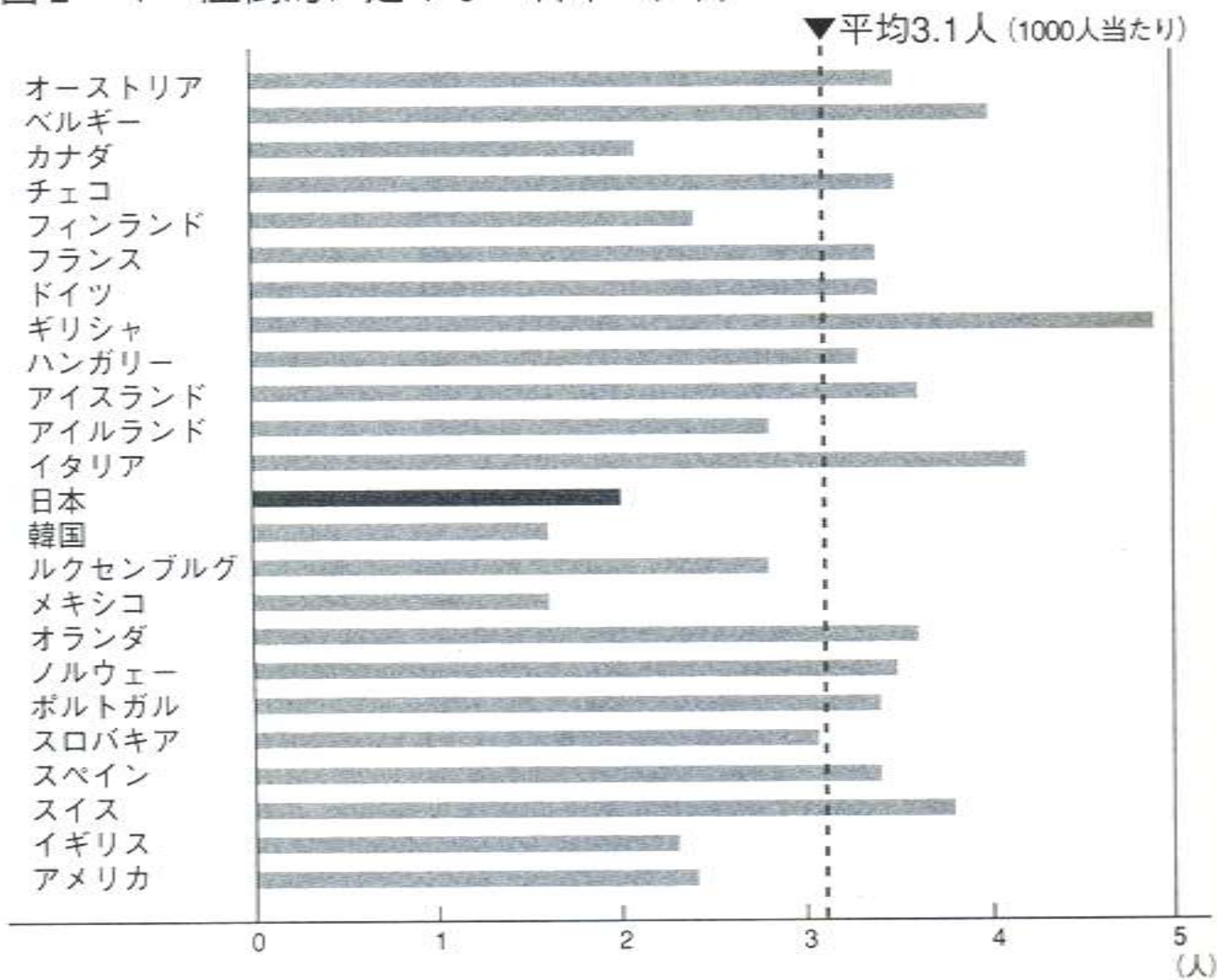
(「月刊保団連」 2004年5月号を参考に作成)

図4-2 各国のGDPに占める医療費の割合（2004年）



（出典：OECD Health Data 2004）

図2-1 圧倒的に足りない日本の医師



(出典：OECD Health Data 2006)

第四章 日本の医療費は本当に高いのか

図4-3 一般勤務医の生涯所得は一流企業の社員以下

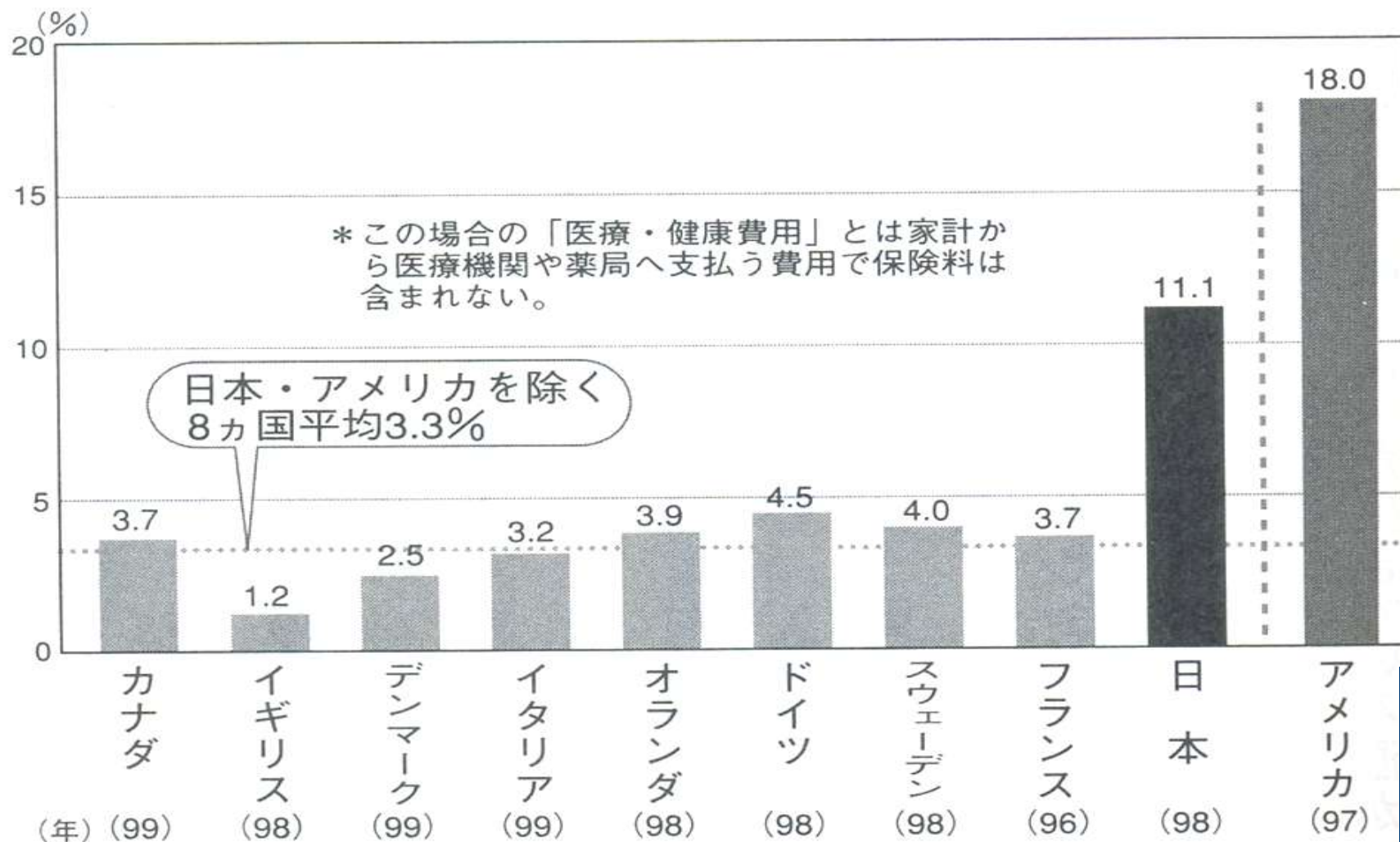
順位	職 種	平均年齢 (歳)	時給 (円)	平均年収 (万円)
1	弁護士	40.5	10,402	2,097
2	パイロット	39.0	8,226	1,382
3	フジテレビジョン	39.7	7,582	1,574
4	三菱商事	42.6	6,389	1,334
5	電通	39.2	6,215	1,335
6	大学教授	56.4	6,196	1,167
7	三菱UFJFG (純)	39.1	5,582	1,112
8	野村HD (子)	38.6	5,404	1,083
9	新日本石油	42.0	5,377	1,142
10	三井不動産	40.6	4,995	1,037
11	医師	39.9	4,985	1,047
12	武田薬品工業	41.8	4,961	1,030

* (純)は純粋持ち株式会社、(子)は主要子会社データ

(「週刊東洋経済」2006年10月7日号を参考に作成)

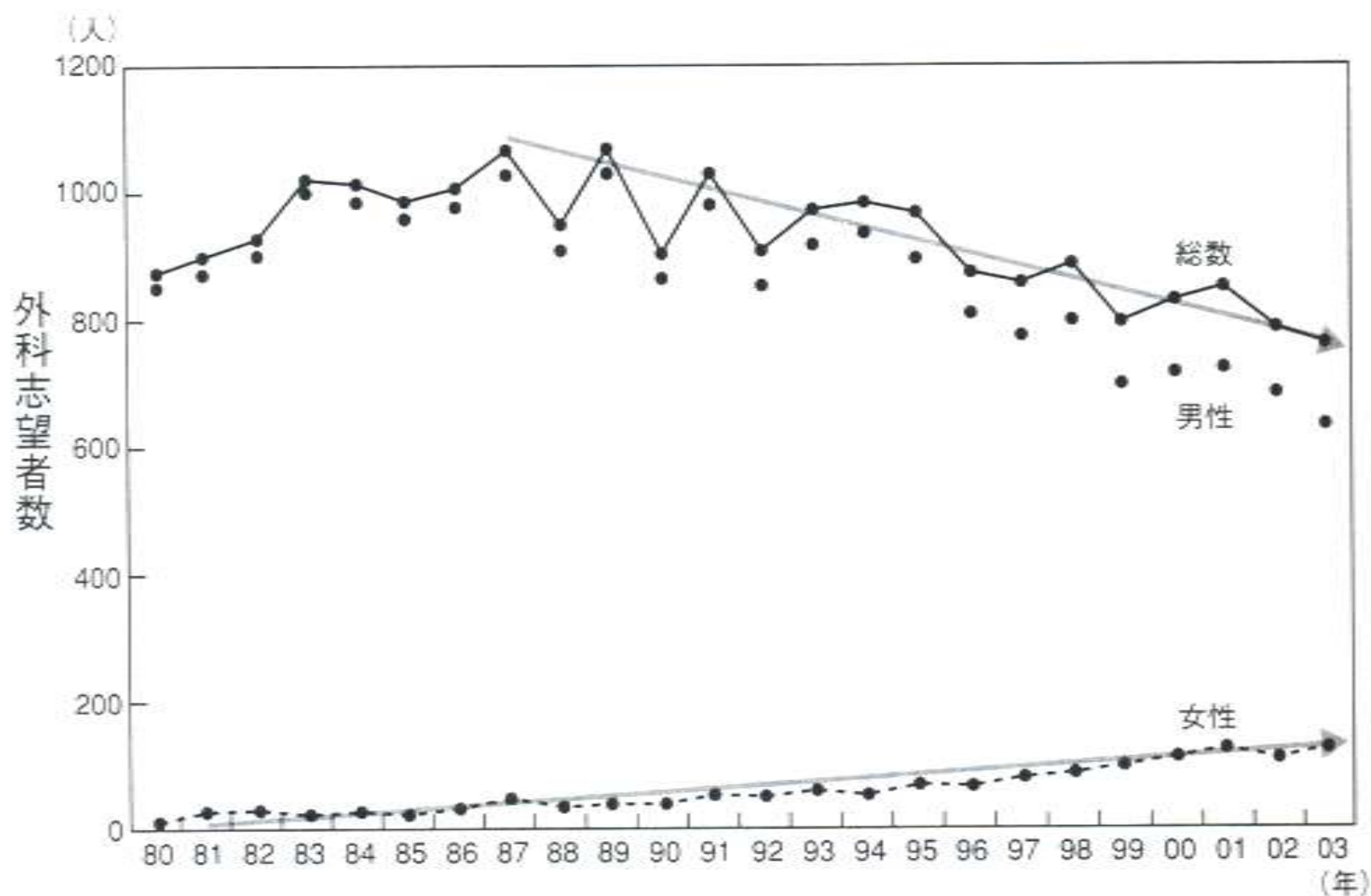
第四章 日本の医療費は本当に高いのか

図4-5 家計に占める医療・健康費用／家計最終消費支出



(日本労働研究機関 『データブック国際労働比較2002』を参考に作成)

図1-1 外科志望者数の変遷



(出典：「日外会誌」2005年12月 長崎大学大学院移植・消化器外科 兼松隆之氏)